



保護猫施設再考計画

ネコにおける環境エンリッチメントによる空間デザイン

🐾ネコの引き取り数を増やし、殺処分数を減らす。



現代においてネコはイヌに並ぶ伴侶動物である一方で、多くのネコが殺処分されている。アニマルウェルフェア*が注目されている中、日本の動物保護施設にいるネコたちは、健康的な生活空間となっていない。そのため、ネコが常同障害*を起こしやすく、施設を訪れた人が保護されたネコを引き取りたいと思わなく、殺処分数が減らないのではないかと考えた。そこで、環境エンリッチメントを用いた行動展示を行うことで、施設内でもネコが生き生きと過ごすことができ、人々はネコに興味を持ち、引き取り数が増え、助かる命が増えるのではないかと仮説を立て、設計を行う。さらに、動物保護施設は郊外にあることが多く、認知度も低い。市街地において、地域に開いた保護施設を設計することで、人々にとってより身近な動物保護施設を提案する。

*アニマルウェルフェア…動物が心身ともに健康であり、その欲求が見らされた幸福の状態。
*常同障害…ストレスや不安により、野生下では見られない異常行動のこと。ネコの常同行動は主に過度のグルーミングによる脱毛、織物摂食行動、尻尾追いや尻尾かじりなどが挙げられている。

🐾日本の現状

現代において日本の動物保護施設にいるネコたちは、殺処分対象となっている。年間で約2万匹のネコが殺処分されている。

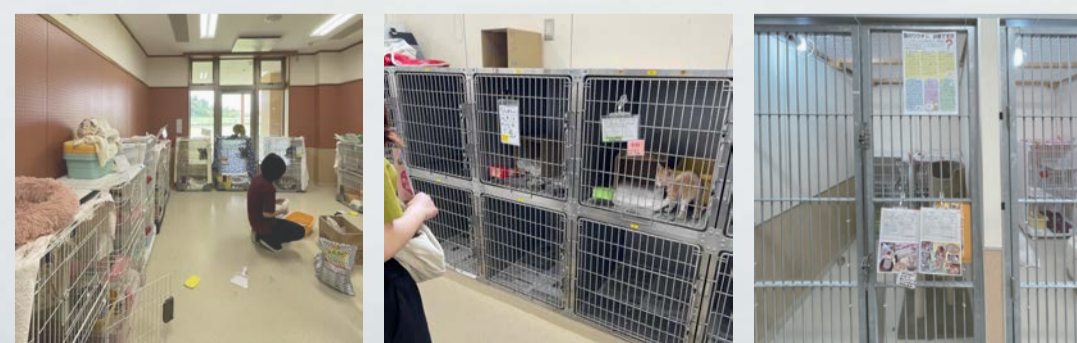
	殺処分数			
	①	②	③	合計
ネコ	9262	5713	4730	19705

参考：環境省，(2021)，統計資料「犬・猫の引き取り及び負傷動物等の収容並びに処分の状況」

- ① 治療の見込みがない病気や攻撃性があり譲渡することが適切ではないネコ
- ② 譲渡先の確保や適切な飼養管理が困難
- ③ 引取り後の死亡

🐾保護施設の現状

新潟県動物愛護センター（長岡市）



狭いケージに収容されており、健康的な空間ではない。ネコの数が逼迫しており、イヌ用のケージにネコ用ケージを設置し、収容されている。屋外にいたネコも内部にいたネコも分けて収容はされていない。

新潟市動物愛護センター（新潟市）



一般来場者が見学のできる場所は、光が取り込める空間となっている。八の字にケージを設置することで感染症の防止する展示の工夫が行われていた。しかし、多くのネコはバックヤードにあり、光の入らない場所で狭いケージに収容されており、県の動物愛護センターと同様に、ネコの数が逼迫していた。

🐾アンケート調査

ネコの保護施設を設計するにあたって、ネコに関するアンケート調査と動物保護施設に関するアンケート調査を実施した。これら両方に焦点を当てているアンケート調査は前例がなく、有効な資料が見られなかった。本研究では、ネコだけではなく、人にとっても心地の良い施設を設計をすることを目的とした調査である。

調査期間は、2022年10月31日～11月6日に実施した。対象者は長岡市民と長岡造形大学関係者。長岡市の対象地域は、①長岡駅周辺地域（関東町、呉服町、長町周辺）と②長岡市郊外地域（上除町西）の二つの地域に対してアンケート調査を実施した。アンケート方法は長岡市民に対しては、各家庭にアンケート用紙をポストインし、アンケートを記入後、郵送またはGoogleフォームでの回答とした。長岡造形大学ではGoogleフォームにて調査を実施した。

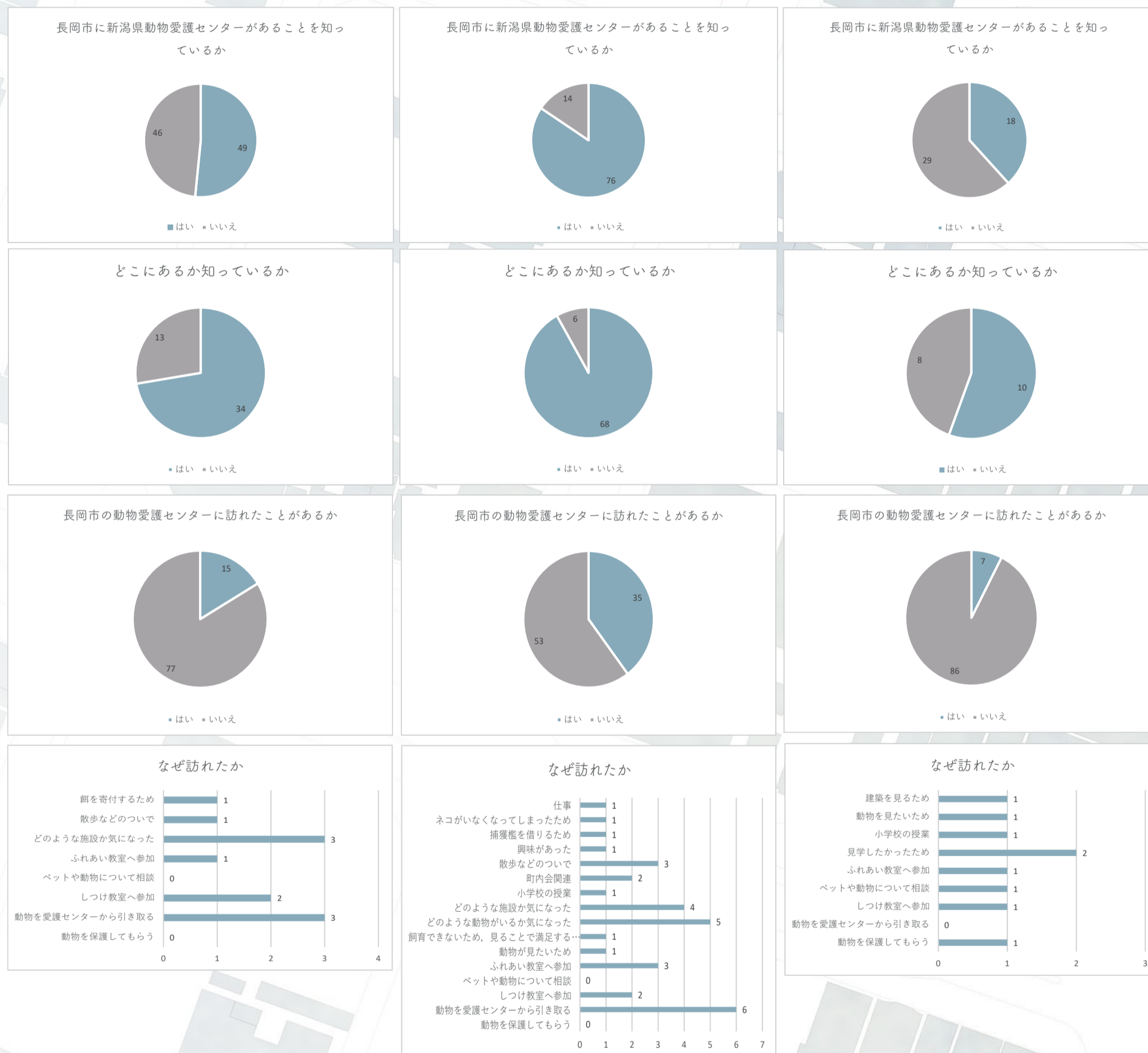
回答率：①長岡駅周辺 50% (100/200)、②長岡市郊外地域 47% (93/200)、長岡造形大学は93件の回答を得ることができた。

🐾アンケート結果

長岡駅周辺地域（呉服町周辺）

長岡市郊外地域（上除町西）

長岡造形大学



現在、新潟県動物愛護センターがある、関原町に近い上除町西地域の回答者は、愛護センターを認知している人が長岡駅周辺地域よりも多いことが分かった。長岡造形大学の回答者は、県外出身も多く、半数以上の方が、認知していなかった。認知しているかつ訪れたことがある人も、上除町西地域が多く、来館理由も、「散歩のついで」や「どのような施設か気になった」などの理由により、来館した人もいた。生活圏内に施設があることによって、施設に興味を持つ人が多く、訪れる人が増えたと考えられる。

🐾敷地

動物保護施設は郊外に立地していることが多い。アンケート結果より、保護施設が近くにある方が認知度も高く、訪れた人が多いという結果が得られた。このことにより、人々が集まりやすく、交通網が整っているまちなかに敷地を設定する。敷地周辺にも多くの駐車場があり、車で訪れる際にも問題はない。まちなかにあることにより、気軽に訪れることができ、動物愛護センターの認知度も上がることを期待する。

長岡郵便局

立体駐車場

🐾敷地情報

用途地域:商業地域
建蔽率80%
容積率600%
敷地面積:約2500㎡
防火地域
高さ制限なし

敷地

長岡駅徒歩3分程度

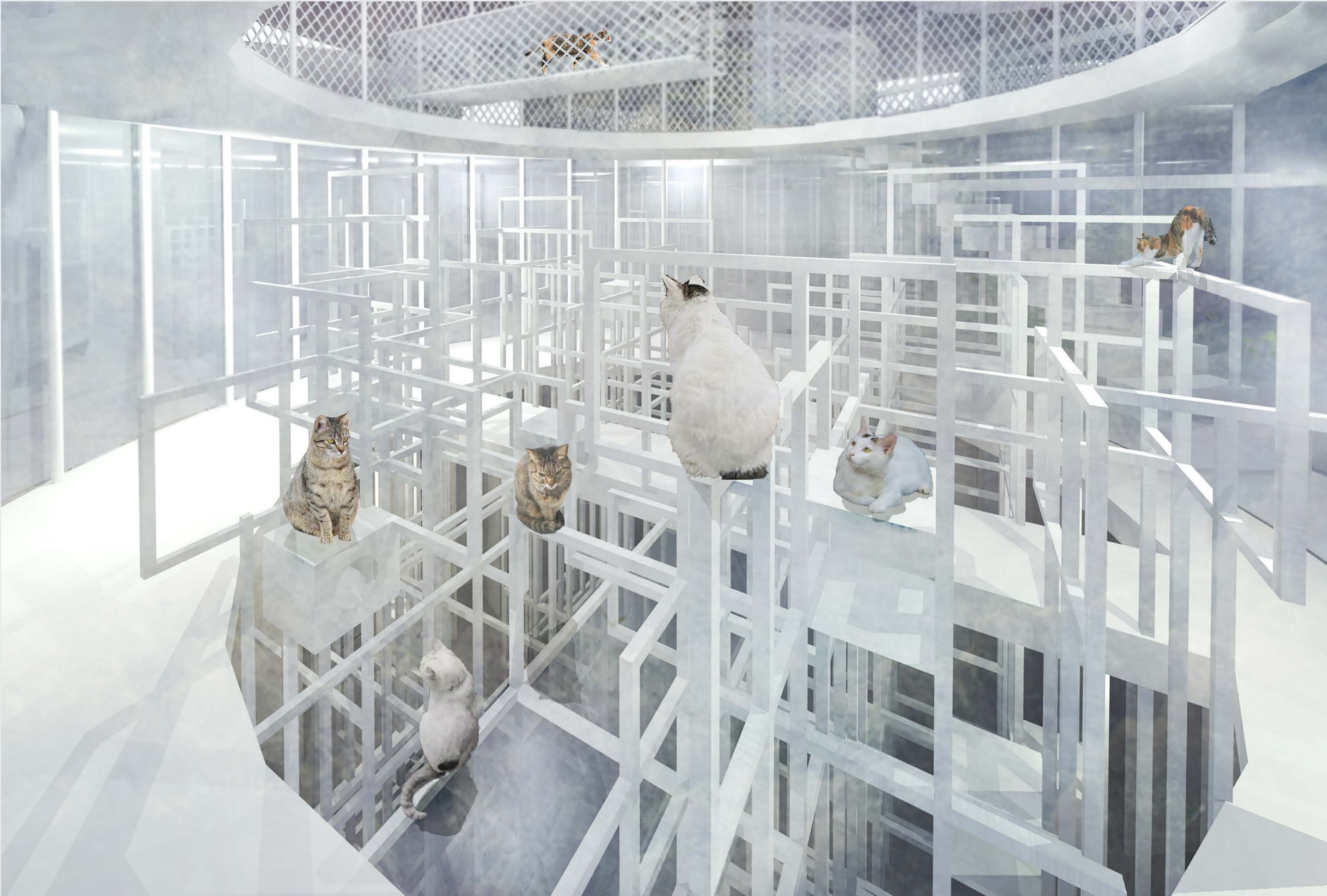
マルイ

バス

長岡駅

アオーレ長岡





🐾環境エンリッチメント

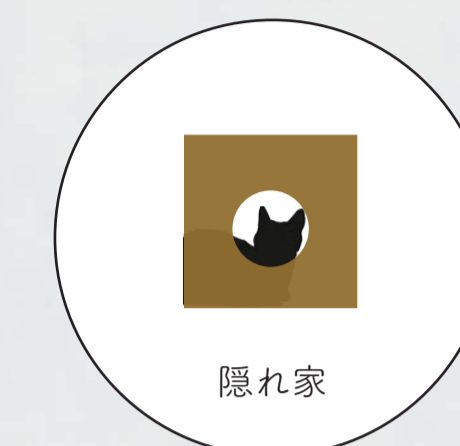
環境エンリッチメントとは

動物の正常な行動を引き出し、異常行動を減らすことで、動物に適した環境を用意する、飼育環境の工夫のこと。(行動学の用語)
例を挙げると、旭山動物園の飼育の仕方が環境エンリッチメントを利用した行動展示が使われている。

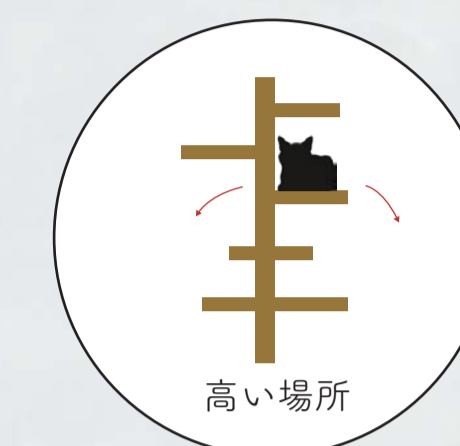
①空間におけるエンリッチメント・・・動物の得意なことができる空間



ネコはジャンプや登ったりすることを得意としており、上下運動は重要。



ネコは狭いところが好きであり、自分の体が入るサイズの場所が好き。

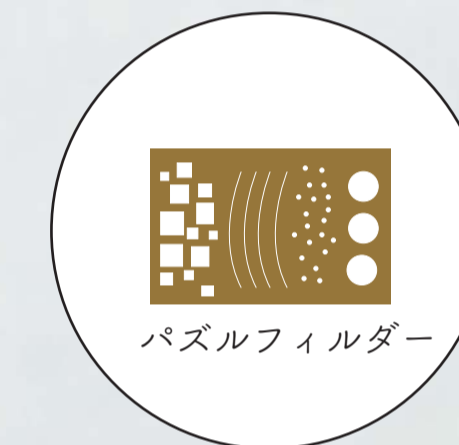


周辺の様子を見ることで、自分の身を守ったり、景色を楽しんだりストレス軽減につながっている。



体温調整をし、エネルギー消費を防いだり、皮膚や毛の抗菌などにより、ネコは好むと言われている。

②採食におけるエンリッチメント・・・ご飯を食べるときに少し負荷を与えて達成感を高めること

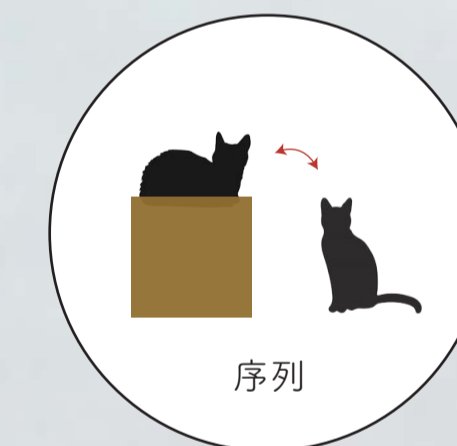


ネコは肉食動物の子孫であり、ネコの特技であるハンティングをすることで、運動や頭を使うため、変化が少ない室内飼育のネコにとって良い刺激となる。

③社会的エンリッチメント・・・猫同士、または猫と人を含んだ他の動物との関わりに注目したエンリッチメント。



適度に音があることによって、ネコの社会性を高めることができる。



ネコには序列があり、高いところにいる方が優位のネコとされている。高さレベルによって距離を保ち、喧嘩を防ぐ。



ネコには社会性があり、上下関係や自分の気分によって距離感が変わる。

④感覚におけるエンリッチメント・・・ネコの感覚に訴えるエンリッチメント



樹木が風に揺れたり、鳥が飛ぶ姿を見ることで刺激となる。多くの猫は少し高めの出窓でくつろぐことを好む。



ネコは狩りのために聴力が発達している。ネコの可聴域「25～7万5000ヘルツ」。ヒトの可聴域「20～20,000ヘルツ」。ヒトよりも可聴域が広いため、不快に感じる音も多い。突発的な大きな音は避ける必要がある。



五感の中でも特にヒトとネコの感覚が違う。ヒトにとっては心地よい香りが、ネコには嫌な臭いを感じることもある。

🐾施設機能

保護する

保護空間



ノラネコや、迷いネコ、飼育崩壊による保護など、様々な理由により、ネコを保護する

つなぐ

多目的ホール



しつけ教室やネコについての研修会などの学ぶ場や交流の場として利用

まなぶ

図書・学習スペース



猫に関連する本を設置し、様々な観点からネコを知る

体験する

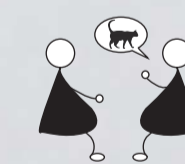
カフェ



ふれあいもできるようにし、気軽にネコとふれあえる場に

寄り添う

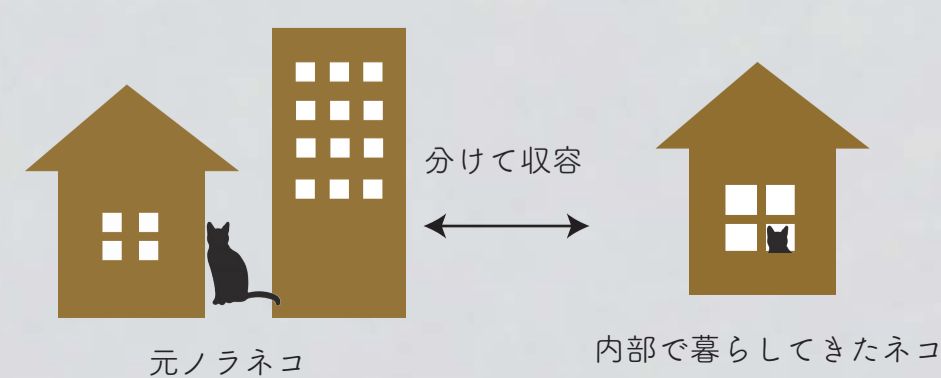
相談スペース



困った時や気になったことを相談しやすいように、収容スペースには椅子やテーブルを適度に設けて、その場でゆっくりと相談できるように

ネコのエンリッチメントに加えて、ヒトの交流の場となる場所をそれぞれ分散させ、様々な目的で訪れた人が交わる。

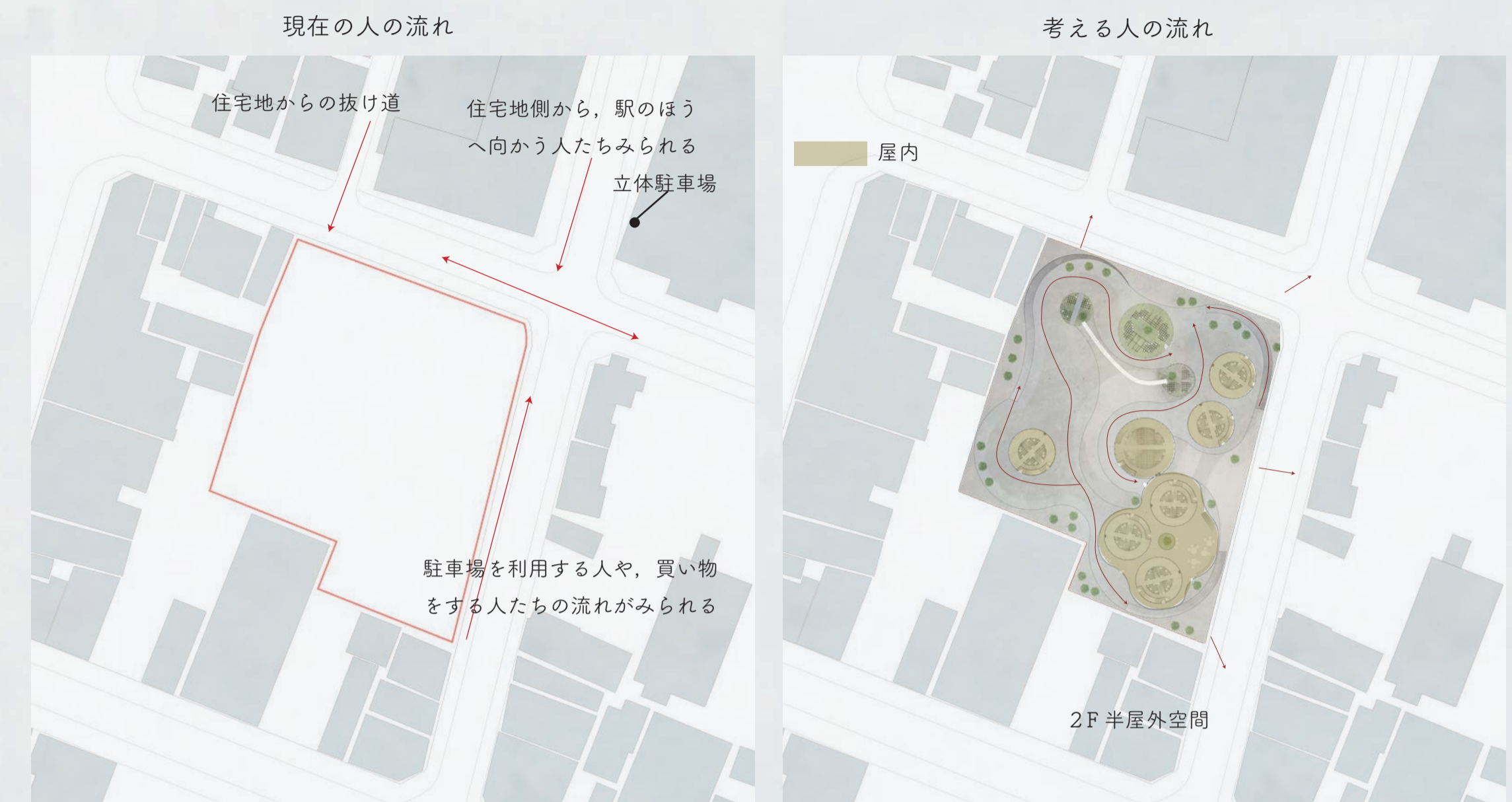
日本の保護施設では、ネコがどこから引き取られてこられても、狭いケージに収容される。もともと外でノラネコとして暮らしていたネコが保護されて、急に狭いところで暮らすことになったら、ネコにとってもストレスとなり、常同行動を起こしやすくなってしまいます。そのため、元ノラネコと、内部で暮らしてきたネコを分けて収容を行う。ノラネコは、飼猫としてだけでなく地域ネコとして戻せるように、管理を行う。





施設内を散歩しながら、ノラネコと人が交差する

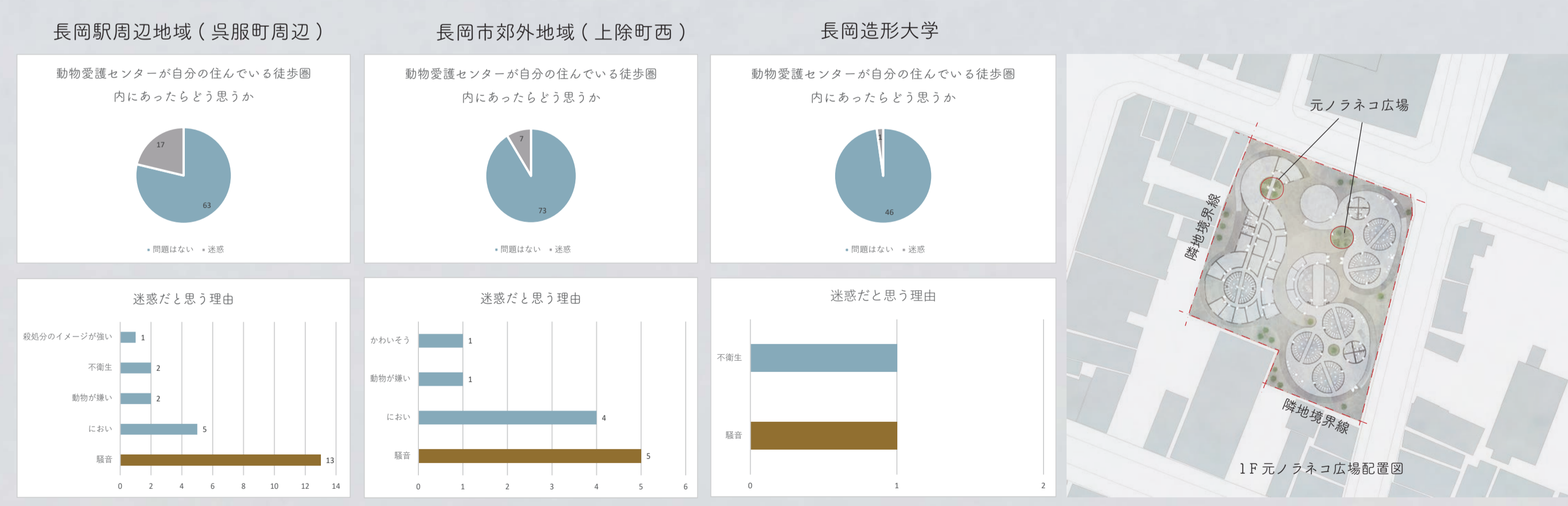
🐾散歩者動線



大通りから少し入った場所であるが人通りがあるため、敷地内を抜けられるように建物を配置する。散歩できるような施設にすることで、気軽に訪れることのできる施設をめざす。

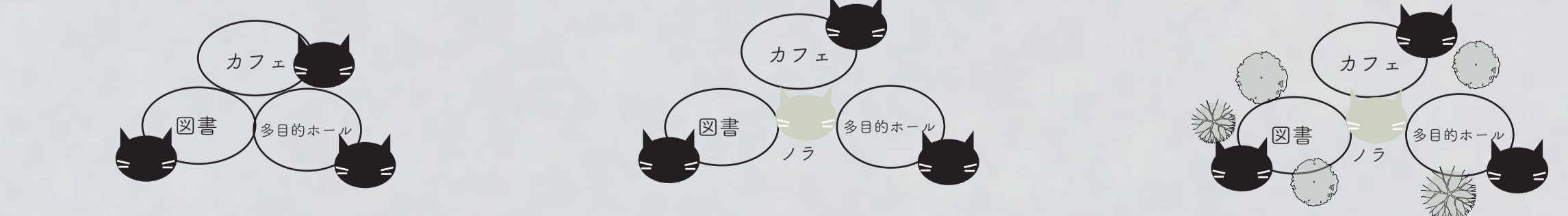
住宅地やまちなかが近い敷地より、散歩しながらネコを見られるように、屋外空間と屋内空間を混ぜる。様々な方向へ抜けられるようにする。

🐾設計プロセス



徒歩圏内に動物愛護センターがあると迷感だと思う理由で多いのが「騒音」。騒音が発生することが予想される、外部空間である元ノラネコの空間を敷地の内側に配置する。

別の目的で施設を訪れた人も収容されているネコの存在を知ってもらおう。



人が集まりやすい空間の周辺に収容空間を配置していく。ネコにとっても、人の声が開こえてくることによって、社会性を高めることができる。

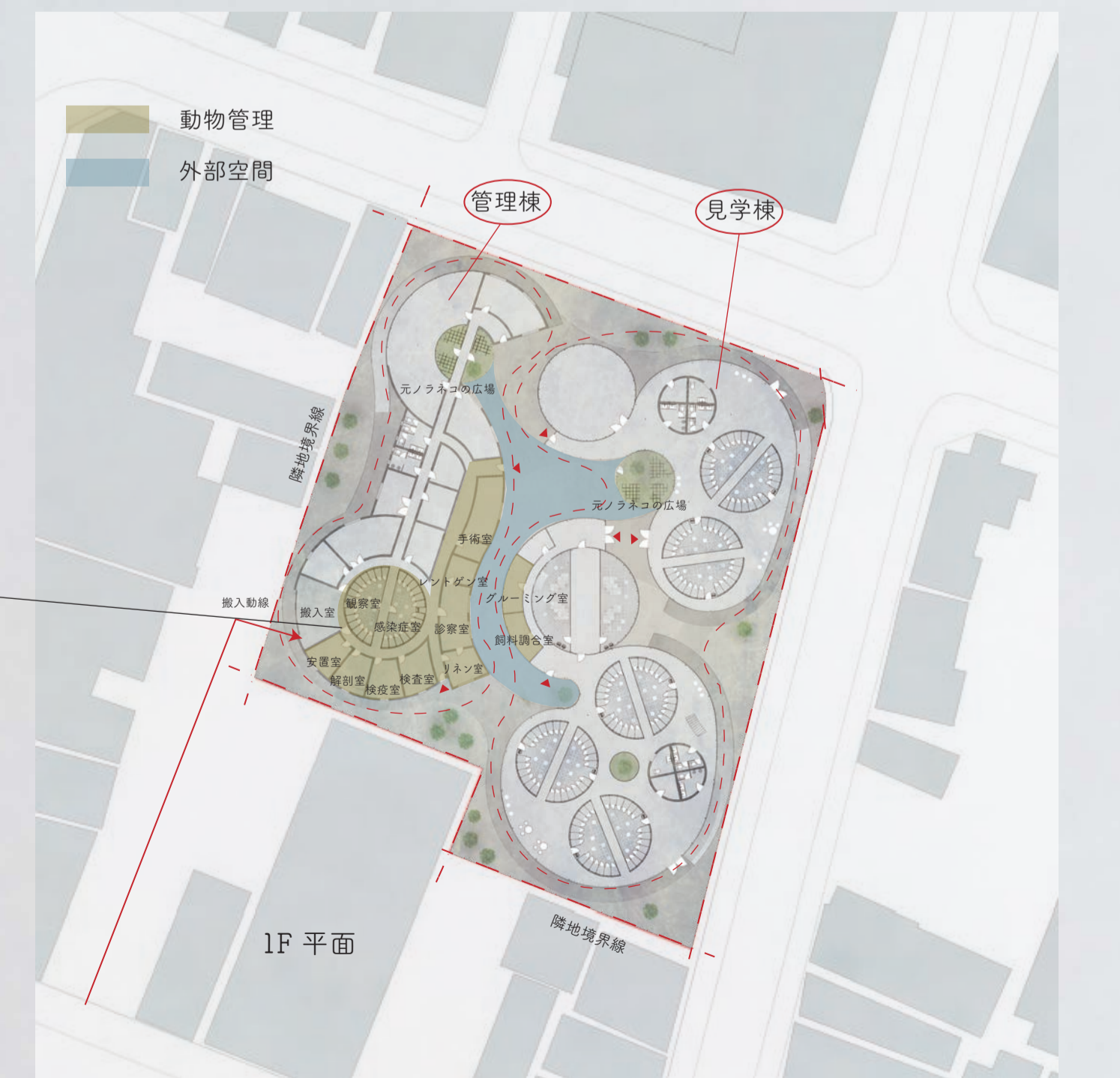
それぞれ分散させながらゆるやかにつなげ、元ノラネコ空間も混ぜていく。外部空間となる元ノラネコ空間は内側に配置する。

人の導線にも配慮しつつ、ネコのエンリッチメントより、ネコの視界に入る場所に樹々を配置していく

搬入室からぐるっと周れるように動物管理関連の部屋を配置する。また、動物管理を見学棟に近い場所に配置し、管理についても一部見られるようにすることで、管理側の様子も知ることが可能になる。



散歩しながら、診察室やグルーミング室などを見ることができる。



施設内にネコが分散しているため、管理棟と見学棟を分けることによって、管理棟と見学棟を行き来するにあたって、職員は敷地内に分散しているネコの様子を確認することができる。入り口を複数設けることにより、アクセスしやすくする。

🐾 収容空間デザイン

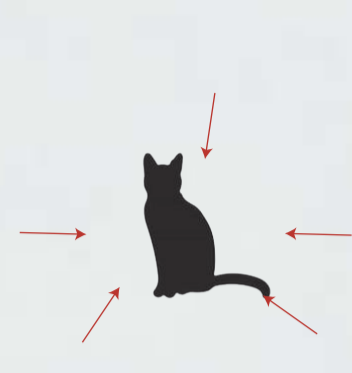
現在多くの保護施設の収容空間は、一匹が狭いケージにずっと収容されていることが多い。そのため、適度に、広い空間で自由にさせ、運動させる必要がある。また、見学する側も、一方向からしか見ることができず、ネコの生態をよく観察することができない。

現在の収容空間



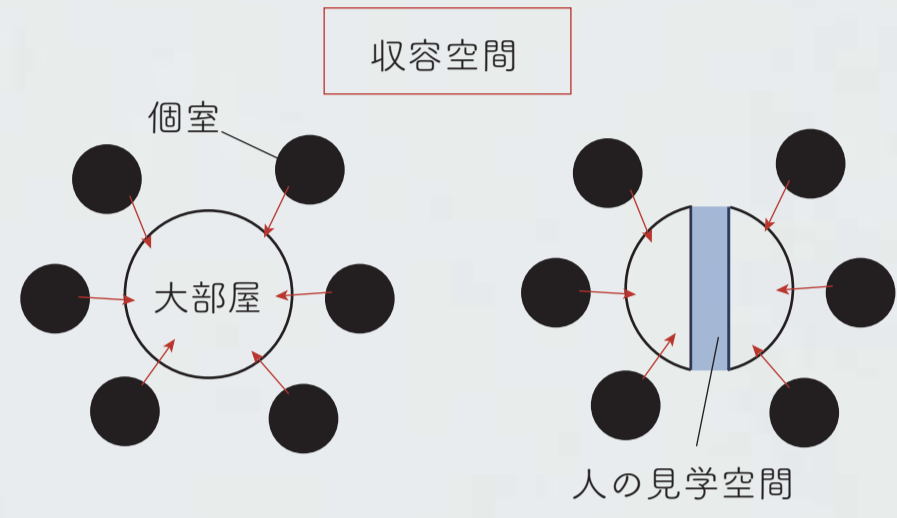
例：新潟県動物愛護センター

考える収容空間



見学者はネコを正面からしか見ることができない

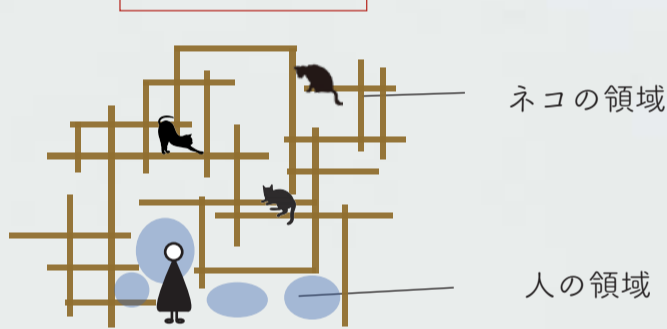
あらゆる方向からネコを見られるようにする



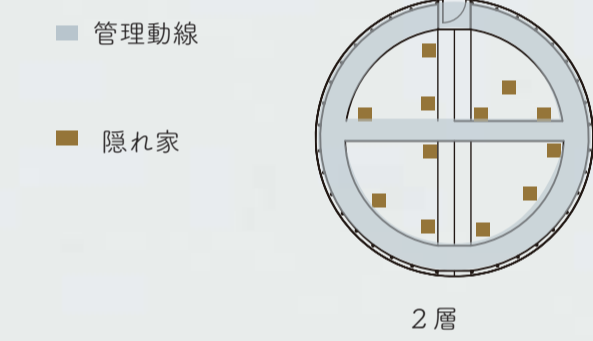
大部屋空間を個室が囲むように配置し、時間ごとによって個室からネコを大部屋に出して自由に過ごさせる時間を設ける。また、ヒトの領域を設ける。ネコを上下左右から観察できるようにする。

人がいる層と猫がいる層を混ぜることにより、人はあらゆる方向からネコを見ることができる。また、元ノラネコと内猫が交差させることにより、それぞれの特性を観察することができる。

管理



ネコの領域と人が入れる領域を分け、ネコとヒトの距離を保つ。掃除は、上から水を流す。



ネコの習性を活かして管理動線にネコが逃げ込めるボックスを設置し、捕まえられるようにする。

🐾 個室収容空間

隠れることも可能だが、顔を出してくつろげるように

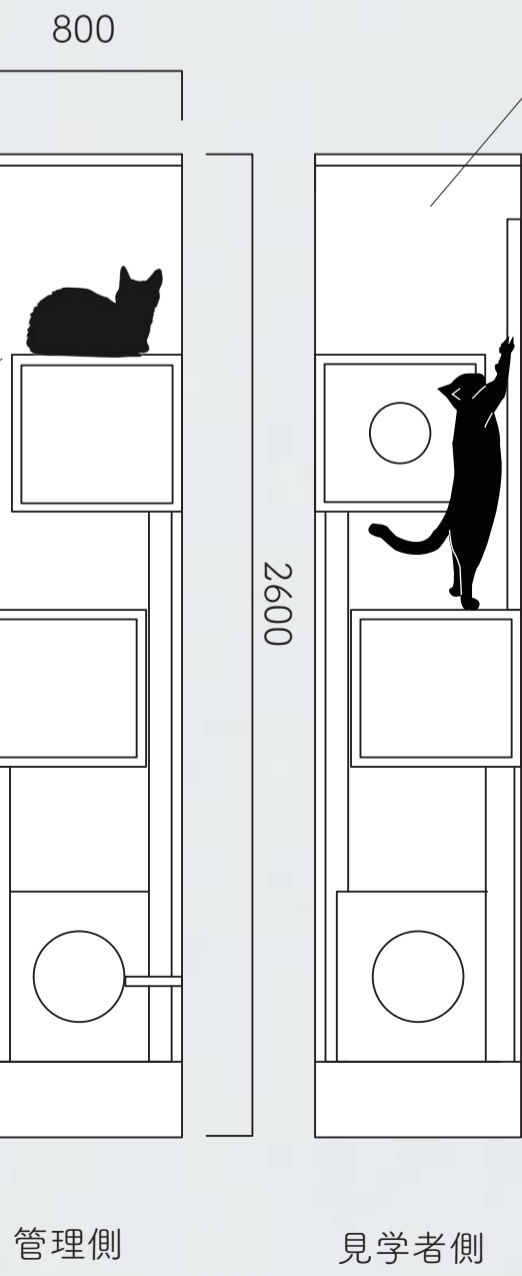


ねる

猫は上に行く習性があるため上部に隠れ家を設ける。高いところに寝床があることで安心する。

といれ

排泄行為を見られることは、ストレスに感じるため、ネコによっては、頻尿を起こし、性格まで神経質になってしまう可能性がある。



個室空間

ロールスクリーンで、ネコの状態によって、目隠しを行う

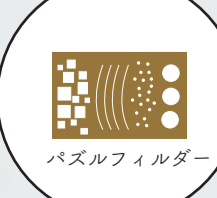
みじたく

猫は身支度を整えるために、爪とぎをする。寝起きに爪を研ぐ習性がある猫が多いため、寝床の下に爪とぎスペースを設ける。

取り外し可能な麻パネルにし、交換可能にする。

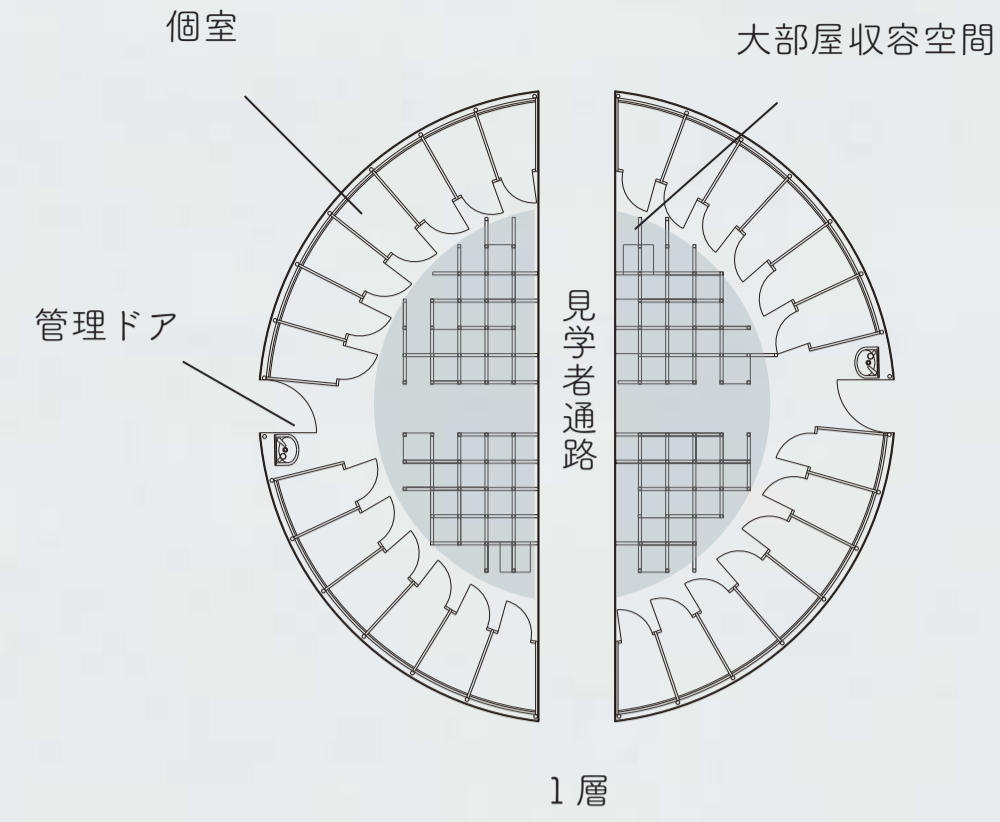
ごはん

ネコは単独行動をしていたことから、自分の臭いを残さないことが安全であった。ネコの本能に従い、臭いの残る食事スペースとトイレを離すことによって、ストレスが大幅に減少する。



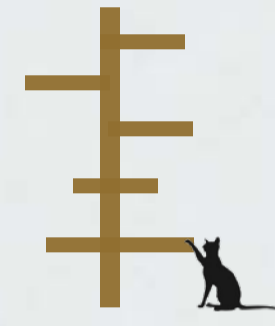
エンリッチメントに従い、パズルフィーダーなども適度に使いながら食事を与える。

🐾 大部屋収容空間

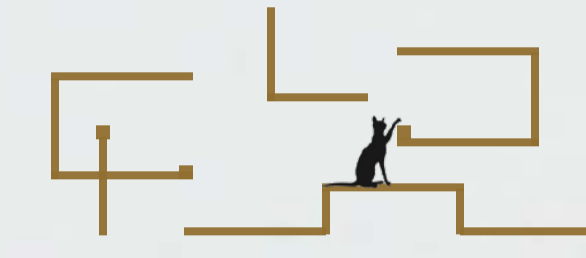


個室空間と大部屋空間の間を見学者が見て通れるように配置。

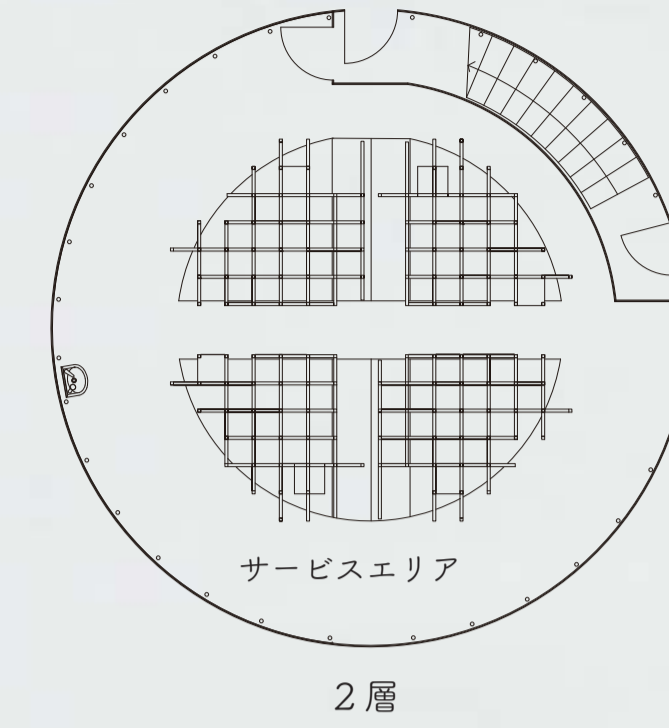
ネコステップ



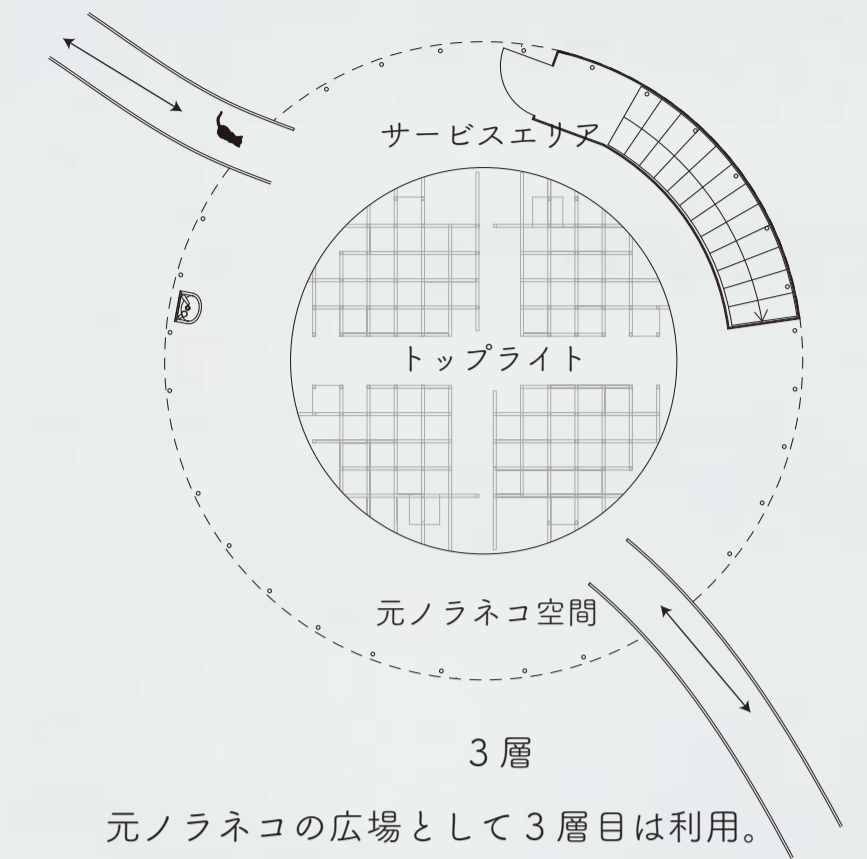
ネコにとって、上下運動を行うことや高いところから見下ろせる場所は大事。線材を張り巡らせて、ネコの空間を構成。



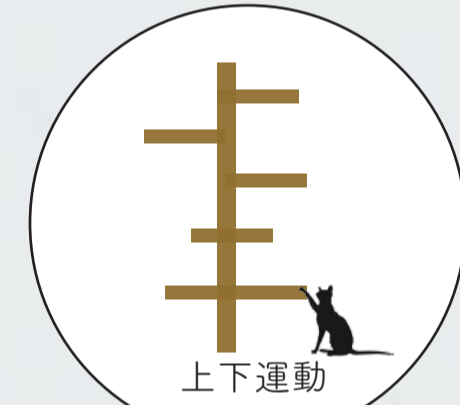
縦横無尽に道を配置。ネコ同士で対面してもよけられるように導線を確保。ネコが考えながら生きることで、良い刺激に。



2層目は管理とともにネコが自由にできる空間。大部屋収容空間の掃除は、上から水を流して掃除を行う。



元ノラネコの広場として3層目は利用。



上下運動

ネコはもともと自然界で木登りを得意として生活してきたことから、入り組んだところや、狭いところを好むため、沢山の線材で空間を構成する。



序列

大きな空間でも、隠れ家を設置することで、運動だけではなく、ネコの行動を尊重する。

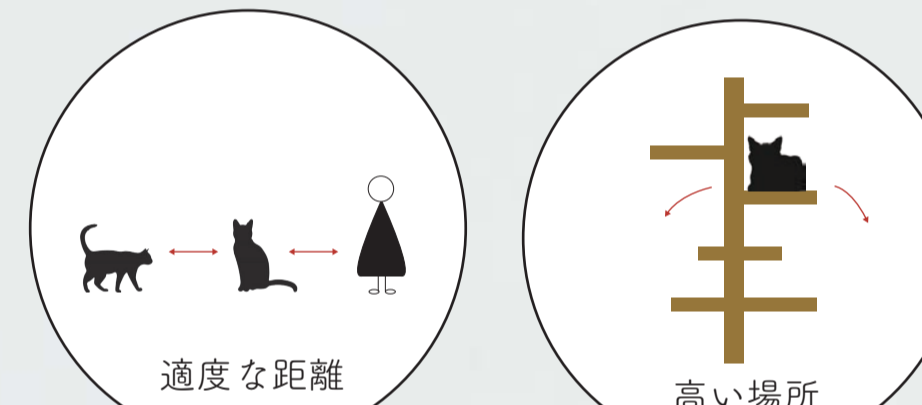


隠れ家



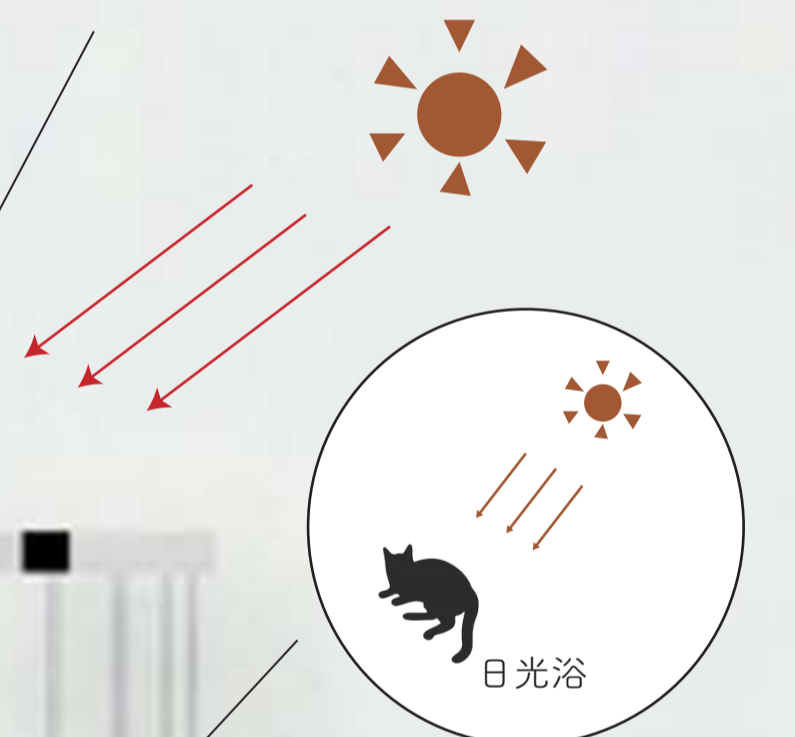
視覚

樹木が風に揺れたり、鳥が飛び姿を見ることで刺激となる。多くの猫は少し高めの出窓でくつろぐことを好む。



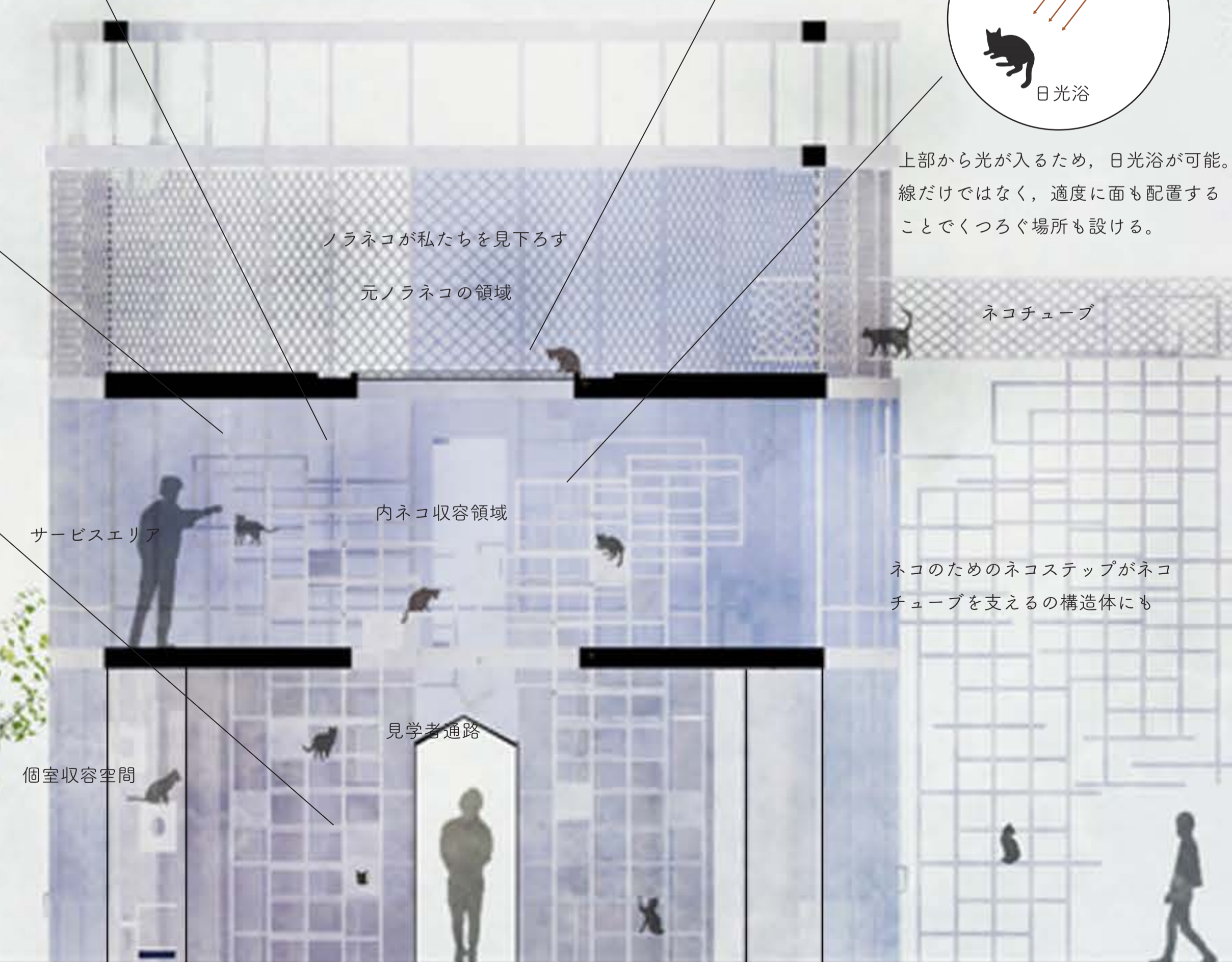
高い場所

ネコは周囲の様子を高いところから見下ろすことを好むため、人の視線よりも上にも構造物を張り巡らせる。



日光浴

上部から光が入るため、日光浴が可能。線だけではなく、適度に面に配置することでくつろぐ場所も設ける。



元ノラネコが私たちを見下ろす

元ノラネコの領域

ネコチューブ

サービスエリア

内ネコ収容領域

個室収容空間

見学者通路